

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第 15 期第 10 回男女平等参画推進審議会
開催日時	令和 2 年 10 月 29 日（木曜日） 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
開催場所	女性総合センター 第 2 学習室及び第 2 会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長挨拶 2. 事務局より報告 3. 議事 立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書（案）（平成 31 年度年次報告）について ・グループ討議
配付資料	なし
出席者	<p>[委員]</p> <p>加藤恵津子、佐藤良子、酒井美恵子、小柴ひかり、坂本澄子、中川夕香、小柳郁美、津崎結子、森林育代</p> <p>[事務局]</p> <p>岡田幸子（男女平等参画課長）、夏目互（男女平等参画係長）、平野邦明、齊藤悦子（男女平等参画係）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加藤会長より挨拶があった。（内容は省略。） 佐藤副会長より挨拶があった。（内容は省略。） 2. 議事 （1）立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書（案）（平成 31 年度年次報告）について ・グループごとに部屋を分けて討議を行った A グループ 第 2 会議室 B グループ 第 2 学習室（オンライン参加あり） ・委員からの意見等は、下記のとおり。 【質問・意見等】 [1] A グループ（基本テーマ I、IV、V） 基本テーマIV 配偶者等からの暴力 <生活福祉課、男女平等参画課 40、42> ・課を横断した会議は大事な会議である。顔の見える関係を日頃作っておくと非常時の対応に良い。評価できる。 ・地元の市役所のどこの課に相談すれば良いか分かり易くしてもらいたい。 <福祉総務課 41> ・民生委員・児童委員の参加が評価できる。

<生活福祉課 43>

- ・これまでも言ってきた意見であるが、相談職員2人は少ない。女性相談員を増やしてほしい。

<協働推進課 43>

- ・成果指標の相談窓口相談者数も通訳・翻訳ボランティア活動件数も減っている。

⇒2月以降新型コロナウイルス感染症流行のため活動できなかったため。

<男女平等参画課 43>

- ・男性相談が増えたことを評価する。

⇒男性相談は加害者側の相談が増えるのではないかと思っていたが、実際は被害者側の相談が増えている。男性も話を聞いてほしいと思っている。

<生活安全課 43>

- ・家事相談は近隣市に類をみない相談とのことですが、それは良い取り組みである。

<男女平等参画課 44>

- ・公共施設女子トイレのカード持ち帰り枚数が増えたことが評価できる。
- ・男性相談ポスターを公共施設に貼ったことも活動に入れる方がよい。

<生活福祉課 45>

- ・東京都市母子・父子・婦人相談員連絡会は大事な会議なので続けてほしい。

<男女平等参画課 46>

- ・東京多摩地域民間シェルター連絡会が令和2年3月で終了したことは大変残念なこと。今後の対応は大丈夫なのか。

⇒別なシェルターで対応できると考えている。お子様や携帯電話等の課題によりシェルターを希望しないケースもある。支援の内容も変化していると考えている。他市と情報共有して検討していきたい。

<市民課 48>

- ・マイナーポータルの手続きで連携する情報に加害者側の取れる情報との関係で心配がある。関連部署との適切な連携をお願いしたい。

<男女平等参画課 50>

- ・孤立しがちな被害者をサポートする団体活動支援は良い取り組み。

<生活安全課 51>

- ・立川警察署管内犯罪被害者ネットワークが開催されなかった理由は。

⇒主催している警察署の判断による。

<生活福祉課 52>

- ・DVの家から出ても、市がサポートしてくれることを周知すれば良いと思う。
- ・安心感を与えるような取り組みを見えるように

<男女平等参画課 53>

- ・～「私らしく両立」を考える～の講座のネーミングがいい。

<健康推進課 54>

- ・子どもの育て方のわからない若い人への教育等に課題がある

<保育課 56>

- ・前年度と大きく違いがない

基本テーマⅤ あらゆる分野での男女平等参画の推進

<男女平等参画課 57>

- ・女性委員比率は前年より上がったが、目標 35%には届いていない。公募委員は大きく上回っている。以前から関連団体の母数の問題があると聞いているが、どのように比率を上げられるように周知しているのか。
⇒年度初めに庁内各課へ文書でお願いしている。少しずつ変わってきていると思う。

<人事課 58>

- ・成果指標の女性職員の昇任希望者比率は 21.2%とあるが、男性の比率はどのくらいなのか
⇒男性職員の昇任希望者比率は 34.3%

<指導課 58>

- ・女性管理職数は前年より下がっている。もっと増やしてほしい。

<男女平等参画課 59>

- ・女性の防災講座はとても良い取り組み

<男女平等参画課 60>

- ・男性が主の団体が増えた

[2] Bグループ（基本テーマⅡ、Ⅲ）

前回の質問に対する回答

- ・ランドセル来館を増やしてほしいという意見について（P21・子ども育成課 17）

⇒すでに全児童館でランドセル来館を実施している。今後も空いている土地や物件を探して学童保育所の新設を進め、待機児童解消に取り組んでいく予定。

- ・出前保育実施回数が減っている理由について（P26・保育課 21）

⇒平成 31 年度より柴崎保育園が民営化された影響。

基本テーマⅡ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進

<高齢福祉課 22>

- ・虐待対応件数が減ったのはなぜか。

⇒令和 2 年 1 月以降、在宅ワークが増え、介護する側に余裕ができたこと

等が考えられる。

- ・支援困難事例が増えたのはなぜか。

⇒地域包括支援センターの認知が高まったため、相談が増えたと考えられる。

<障害福祉課 22>

- ・非常勤の職員が減ったのは良くない。なぜ減ったのか。

⇒補助金の上限額に達し、人件費が不足したため。

<福祉総務課 23>

・一人暮らし高齢者実態調査を中止したとのことだが、これは大切な調査なのではないか。

⇒フォローとして、電話で高齢者の状況の確認を行った。また、令和2年7月には高齢者にアイスタオルを配布し、その際にインターホン越しに状況を確認する取り組みを行った。

- ・民生委員の数をそろえ、地域と民生委員が連携することが大切である。

<介護保険課 24>

- ・ケアプラン点検等について、高齢者に寄り添って行ってほしい。

<障害福祉課 24>

・コロナがあっても相談支援件数が減らないということは、いいことだったなと思う。

<高齢福祉 25>

・ちょっとボランティアの登録数が少ない。どのようにしたら増やせるのか工夫してほしい。

<生涯学習推進センター 26>

- ・高齢者のグループ活動があることは良いことである。

<施策3全体を通して>

報告の内容だけで、目指したい「男女が共に多様な働き方、生き方が選択できる社会の実現」につながるのか疑問である。介護は女性の仕事という考えが根強くあると思う。

⇒高齢福祉課では、看取り支援講演会を開催している。家族みんなでどのように看取るか等について考える機会となっていると思う。

基本テーマⅢ 雇用の場における男女平等参画の推進

<男女平等参画課 27>

- ・オンラインで色々な講座を主催する予定はあるか？

⇒マザーズハローワークが企画・運営をしているので、立川市の考えだけですぐにオンラインとするのは難しいと思う。市民企画講座では、今年度オンラインで実施する講座もある。

<産業観光課 29>

- ・地域経済活性化推進委員とはどのような人なのか。

⇒立川市で採用した非常勤職員。中小企業診断士として実務経験が5年以上あることなどの条件を満たした人により起業支援のアドバイスを行っている。

- ・実際に起業した経験者によるアドバイスも大切だと思う。

<産業観光課 30>

- ・相談の窓口はどこにあるのか。

⇒窓口は市役所本庁舎の産業観光課。

- ・融資金額の規模はどの程度なのか。

⇒4件で3,600万円。

<産業観光課 31>

- ・セミナーは託児付きなのか。

⇒保育は行っていない。

<男女平等参画課 32>

- ・講座回数が減っているのはなぜか。

⇒東京都労働相談情報センターとの共催講座を平成31年度は実施しなかったため。

・市内の事業所数が7千近くあるのに対して、参加者数が少ない。資料を配布するだけでなく、コロナの状況にもよるが、セミナー等の開催も検討し、ワーク・ライフ・バランスを広めて欲しい。

<男女平等参画課 33>

・配布パンフレット8種類はどのようなもので、何枚くらい配布しているのか。

⇒名刺サイズの小さなカード等。配布数は把握していない

- ・置く場所などを工夫した方がよい。

<産業観光課 33>

・相談のなかで、例えば会社でセクハラが発生した場合などどうするのか。単に聞いてくれるだけなのか、何か対応をしてくれるのか。

⇒実際に指導を行うのであれば労働基準監督署。まずは相談を受け、各種関係機関と連携していくことになると思う。

<男女平等参画課 34>

- ・事業活動内容と担当課評価の内容がずれている

⇒担当課評価に東京都労働相談情報センターとの共催事業を実施しなかったことを記載するようにする。

・パートタイム労働法の冊子の内容は難しい。労働法等に関する解説や講座の開催をして欲しい。

・子育て中の人には、動画で確認の方が時間を取りやすいので検討して欲しい。

<男女平等参画課 35>

・育児休業や介護休業の規定が定まっている事業所は多くあるのはわかる

	<p>が、実際に育児休業と介護休業を利用した実績の統計数があれば知りたい。制度がある企業は多いが利用者数ゼロだとあまり意味がない。</p> <p>⇒都内の育休取得率は男性 11.8%、女性 95.6% (H30 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市役所の利用者数が知りたい。経年で確認をしたい。 <p>⇒H27 年 3 人 (10.7%)、H28 年 4 人 (26.7%)、H29 年 8 人 (24.2%)、H30 年 5 人 (22.7%)、H31 年 9 人 (28.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の取得率の内容 (日数等) が知りたい。 <p>⇒都内の男性では「1 か月～3 か月未満」24.1%が最も多く、次いで「5 日～2 週間未満」15.7%となっている。</p> <p><子育て推進課 36></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課評価が昨年度と全く同一であるが誤りではないか。 <p>⇒「14 人の修業」を「7 人の修業」に訂正。</p> <p><産業観光課 36></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの現在の登録者数はどの程度いるのか。 <p>⇒約 1,500 人。</p> <p>登録者数が少ないと聞いているが、なぜ少ないのか理由も知りたい。</p> <p>⇒定年が延長された影響が大きいと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブシニア就業支援センターとはなにか。 <p>⇒東京しごとセンターが開設している、概ね 55 歳以上の方を対象とした無料職業紹介所。都内 12 か所に設置。そのひとつとして立川商工会議所が無料職業紹介所を開設している。</p> <p><障害福祉課 36></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者への対応が大変良く、頑張っていると思う。 <p><その他、すべてに関連する項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、対象者にもっと内容が届くようにしていくといいと思う。単に印刷物を配布するだけではなく、違う視点でどうしたらよいか検討して欲しい。 ・ボランティアのことなど、募集をしている情報をもっと幅広く知らせるような工夫をしてほしい。 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 11 回審議会の開催日時は、11 月 26 日 (木) 19:00～ 全体の評価について審議を行う。 会場は第 2 学習室 オンライン参加あり ・第 12 回審議会の開催日時は、12 月 22 日 (火) 19:00～
担当	<p>総合政策部男女平等参画課男女平等参画係 電話 042-528-6801</p>